

2023年長野地域おもなできごと

内 容

しあわせ信州創造プラン 3.0 長野地域計画の策定・推進

【地域全体】

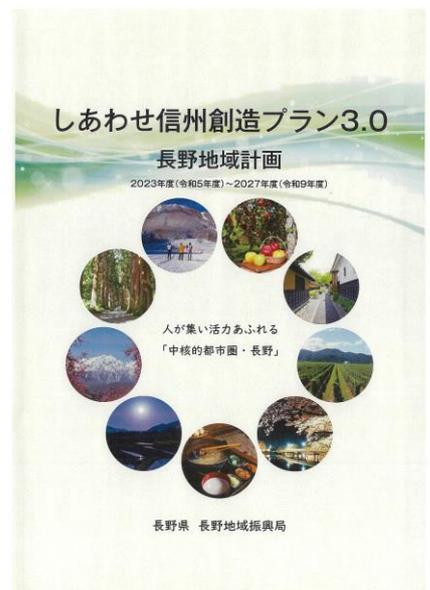
長野県では、今後の県づくりの方向性を明らかにし、県民の皆様と共有しながら夢や希望の実現に向けて共に取り組んでいくための総合5か年計画「[しあわせ信州創造プラン 3.0](#)」を策定しました。

長野地域振興局では、地域のめざす姿や重点政策を盛り込んだ[長野地域計画「～人が集い活力あふれる『中核的都市圏・長野』～」](#)を策定し、以下の3つの地域重点政策に取り組んでいます。

(地域重点政策)

- 大規模災害の経験を生かし「自然災害に強い持続可能な長野地域」をつくる
- ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる
- 人口減少下にあっても「デジタル技術や地域の強みを生かし今後も躍進する長野地域」をつくる

これらの政策を柱に、長野地域連携中枢都市圏の取組とも足並みを揃え、地域の皆様とともに魅力ある長野地域を目指していきます。



新型コロナウイルス感染症が5類に移行【長野保健福祉事務所】

5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行し、限られた医療機関による特別な対応から、幅広い医療機関で対応する通常の体制に移行しました。

長野地域では、令和2年4月の第1例目の患者から移行までに累計12万1,468人の患者が発生し、社会生活に大きな影響を及ぼしました。

ここに至るまでの医療・介護従事者のご尽力に心から感謝申し上げますとともに、5類移行後も変わらず院内・施設内感染防止に尽力されていることを県民の皆様にご承知いただき、基本的感染対策を継続していただきますようお願いいたします。

地域で横断的に取り組む課題への対応

防災・減災による災害に強い地域づくり

○須坂市林道米子不動線の復旧【長野地域振興局 林務課】

令和元年東日本台風災害で被災した須坂市林道米子不動線の復旧工事が完了し、5月に開通しました。

これにより、米子大瀑布への通行が可能となりました。



○上堰沢（長野市豊野大倉）の大倉砂防堰堤の完成【長野建設事務所】

平成 28 年度から事業着手した、長野市豊野地区の砂防堰堤が 4 月に完成しました。豊野ひがし保育園や人家、国道 18 号を土石流災害から守る最後の砦として機能します。



○樽沢川（高山村水中）の砂防事業の完了【須坂建設事務所】

平成 23 年度から事業着手した、高山村水中地区の砂防事業が 12 月に完了しました。

樽沢川は豪雨の際に巨れき混じりの土砂が流出する可能性があるため、本地区を平成 19 年 3 月に土砂災害警戒区域等に指定しました。

土石流対策として 2 基の砂防堰堤を設置することにより、下流域の人家 109 戸、公会堂、県道、観光地であるしだれ桜などを保全することができるようになりました。

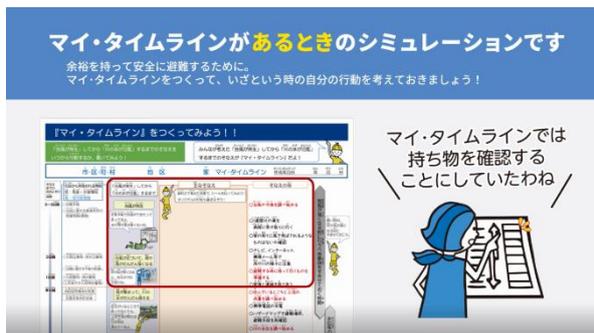


○マイ・タイムラインに関する広報動画の作成・公開【長野建設事務所】

流域治水における「備える」取組として、「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた広報動画『[「マイ・タイムライン」をつくろう・つかおう！～逃げ遅れゼロ実現にむけて～](#)』を作成し、YouTubeで3月に公開しました。

令和元年東日本台風災害の経験から、防災意識がとりわけ高いという地域性を活かし、全県に先行しての作成となりました。

(参考) マイ・タイムライン…洪水災害の際に、自分や家族が取るべき行動をまとめた行動表



○浅川ダム、裾花ダム、奥裾花ダム、豊丘ダムで「ダム祭り」を開催

【浅川改良事務所/裾花ダム管理事務所/須坂建設事務所】

普段入ることのできないダム堤体内を公開し、探索を通じて洪水被害防止の要となるダムの構造や必要性を住民の方に理解していただく機会となりました。



持続可能な脱炭素地域づくり

○「ゼロカーボンミーティング in 長野」の開催

【長野地域振興局 環境・廃棄物対策課】

「2050 ゼロカーボン」の達成に向け、長野地域の学生、事業者、大学、NPO 法人、行政など様々な主体が気候変動に関する対話を行い、“思い”や“動き”を共有することを目的とした「ゼロカーボンミーティング in 長野」を12月に開催しました。

83名が参加し、個人で取り組める身近なゼロカーボンアクションや長野市、千曲市、小布施町、飯綱町等各地域で行われている様々な取組を共有しました。



○「再生可能エネルギー学習会」の開催【長野地域振興局 環境・廃棄物対策課】



長野地域の特性に適した再生可能エネルギーの普及を目指し、市町村職員等を対象とした再生エネルギー学習会を11月に野沢温泉村で開催しました。

22名が参加し、まくなえ川の村営小水力発電所や野沢温泉中学校の積雪地用太陽光パネルの見学を行い理解を深めました。

○果樹せん定枝の炭化技術の普及啓発【長野農業農村支援センター】

冬期の果樹主要作業である「せん定」作業で発生する切除後の幹や枝を炭にして土に戻す取組を推進しています。炭を土中に貯留することで二酸化炭素の排出削減と農地土壌の改良が期待されています。

この取組の一環として、デモ用の炭化器を各地で実演し、農業者への啓発を積極的に行っています。10月には地域振興局の若手職員向けの研修において実演し理解促進に努めました。



活力ある農山村地域づくり

○JR や AC 長野パルセイロとコラボして「ながの果物語り」を積極的に PR

【長野農業農村支援センター】



長野地域産果物の認知度向上を図るため、「もも博覧会（8月）」、「ぶどう博覧会（9月）」、「りんご博覧会（11月）」をそれぞれ JR 長野駅で開催し、県内外からの来訪者に特産果物の魅力を伝えました。

さらに、11月にはサッカーJ3「AC 長野パルセイロ」のホームゲームで、りんごのギフトセット等が当たる「りんご大抽選会」を行い、スタジアムに来場したサポーターへ広く PR しました。

○「クイーンルージュ®試食会」の開催【長野農業農村支援センター】

県果樹試験場で開発された新品種ぶどう「クイーンルージュ®」の地元宿泊施設や飲食店等での利用を広げるため、9月に関係事業者を対象とした試食会を開催しました。生食に加え、老舗フルーツ専門店「新宿高野」からお迎えした講師に提案いただいたパフェ、ジュースも試食いただき、甘さが特長の「クイーンルージュ®」の魅力を知っていただくことができました。

○県民参加型予算により果樹の管理作業動画を作成【長野農業農村支援センター】

県内果樹産出額の約4割を占める長野地域では、りんごの摘果などの作業を行う労働力の確保が課題になっています。この解決のため、県民の皆様アイデアをいただきながら「[1日農業バイト](#)」のアプリ活用と新規求職者向けの果樹管理作業動画を作成しました。

りんご、ぶどう、ももの3品目それぞれについて主要な4作業の動画を作成し、今後、果樹農業者への発信と「1日農業バイト」のアプリとの連携による視聴拡大を図っていきます。



（参考）県民参加型予算…県政をより身近なものにするために、県民の皆様から事業をご提案いただき実施するための予算

○綿内東町地区樹園地の区画整理工事が完了し営農を開始

【長野地域振興局 農地整備課】

令和3年度の着工以来1年半の歳月をかけて6.4haの整地工を行ってきた、長野市の綿内東町地区（清水工区）の区画整理工事が完了し、担い手農業者がりんごやぶどうの栽培をスタートしました。

農地整備事業実行委員会は4月6日に植樹式を挙行し、発注者である長野地域振興局、長野市、JAグリーン長野、耕作者など約40名が工事の完成と営農の開始を祝いました。



○春先の凍霜害により農作物に甚大な被害発生【長野農業農村支援センター】

暖冬により生育が進んでいたりんごやなし等の果樹の花が、4月の断続的な低温と遅霜により枯死する被害が発生しました。被害額は管内8市町村において3億7,700万円余に及びました。

農業農村支援センターでは市町村やJA等と連携し、速やかな技術対応と「農作物等災害緊急対策事業」の活用による被害果実の販売促進等を行うなど被災農家の支援を行いました。



地域の強みを生かしたものづくり・観光振興

○「DXキックオフセミナー」の開催【長野地域振興局 商工観光課】

中小企業等の生産性向上、ビジネスモデルの変革等を図るため今年度からDXの支援を開始しました。

7月には（独）情報処理推進機構の講師による「どうする!?中小企業のDX」と題したキックオフセミナーを開催し、web方式も含め26名が出席しました。

10月からは、DX化に取り組みたい事業者を対象に「DX専門家派遣事業」を開始し、専門家が各事業者の抱える課題をどのようにクリアし組織内にどう定着させていくかなど、事業者に寄り添いながら支援しています。



○体験型観光の推進【長野地域振興局 商工観光課】

ワインツーリズム、サイクルツーリズム、体験型観光のPRに取り組み、新たな需要に応える観光地域づくりを推進しました。

ワインツーリズムでは昨年度から引き続き、ワイン用ぶどうの収穫の観光コンテンツ化を進めるとともに、サイクルツーリズムでは、北信地域とも連携した研修や職員自ら走行しての動画制作などに取り組みました。また、各種アクティビティを集めたサイトを開設し、松代焼など体験者自らが撮影した臨場感ある動画を制作・掲載しました。



観光アクティビティ発見サイト
「体験！ながの」



○サイクリストの休憩スポット「千曲市女沢公園のトイレ」の改修が完了

【千曲建設事務所】

今年4月に決定した「[Japan Alps Cycling Road](#)」の一部となる「千曲川サイクリングロード」の休憩施設として、女沢公園のトイレ改修が完了しご利用いただけるようになりました。

快適なサイクリング環境を提供するため、地域発のインフラ整備である「地域戦略推進型公共事業」として平成30年度から老朽化したトイレの改修を行ってきたものです。

トイレの水洗化に加え、民間・公共団体から構成される「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」の意見を取り入れ、外装デザインや床材の選定を行い、サイクリストにとって快適な施設に生まれ変わりました。



それ以外の取組等

○「長野地区みどりの少年団交流集会」の開催【長野地域振興局 林務課】

7月、長野市上ケ屋の一の鳥居園地において「令和5年度長野地区みどりの少年団交流集会」を開催しました。

長野地区では4年ぶりの開催となりましたが、101名が参加し、森林クイズやクラフト、丸太を使ったゲームで楽しく自然に触れ合うことができました。



○長野合庁フードドライブの実施【長野地域振興局 総務管理課】



長野県のフードドライブ統一キャンペーンに併せ、長野合同庁舎でもフードドライブを開催しました。

地域の企業、JAながのをはじめ多くの皆様から、合計約12トンの食品や子ども用品を寄付いただきました。寄贈品はNPO法人との協働により生活困窮家庭等、物資を必要とされている方にお届けするとともに、こどもカフェ・こども食堂でも活用させていただきます。